

## 10 地域での意見交換における主な意見について

令和6年8月29日

長野県企画振興部総合政策課

### 【7/4(木) 長野地域】《子育て、働き方》

(テーマ) 人口減少社会でも子どもを安心して生み・育てられる長野地域にするには

(参加者) 子育て中の女性 20名

- (概要)
- 楽しく子育てし、働きやすい環境を作るためには、子育て情報の一元化や気兼ねなく育休を取得できる環境の確立、地域や企業による支援が重要
  - 子ども達に未来に希望を持ってもらうために、多様な働き方の実現や、地域や子育ての魅力のアピールが必要

### 【7/9(火) 南信州地域】《子育て、人材確保、働き方、出産》

(テーマ) 2050年の『ありたい未来像』を踏まえ、南信州での子育てが安心して魅力的であるために必要なこと-人口減少社会において、安心して子育てできる地域とは-

(参加者) 傾奇組(かぶきぐみ)及び関係者 12名

- (概要)
- 保育士不足を解消するため、AIやICTを積極的に活用した業務の見直し等の働き方改革や、担い手確保の取組が必要
  - 子育て世代が楽しめる屋内施設の整備や、病気や障がいなど、子育てのために休みを取りやすいよう社会的全体で理解を深めることが必要
  - 病院や助産院など、出産環境の充実が必要

### 【7/19(金) 上伊那地域】《働き方、まちづくり、地域づくり、人材確保、公共交通》

(テーマ) 人口減少下でも生き生きと暮らせるリニア時代の上伊那の条件とは

(参加者) 多様な業種の女性・若者 13名

- (概要)
- 賃金や労働環境の処遇改善や、女性の働く場所や若者の集まる場所の整備など、女性や若者が活躍できる地域とすることが必要
  - 地域の魅力を発信するとともに、人口減少下に相応しいコミュニティを形成し、人とのつながりや交流が活発な地域とすることが必要
  - ものづくり産業や農業の担い手確保、リニア開業を見据えた公共交通の充実が必要

### 【7/22(月) 北アルプス地域】《地域づくり、魅力発信、働き方》

(テーマ) 人口減少・少子化が進む中で、地域や自身が携わる仕事・業界が持続していくためにはどのような取組が必要か

(参加者) 地域おこし協力隊員及びOB 9名

- (概要)
- 人口を増やすことが目的ではなく、活力ある地域をつくっていくことが大切。コミュニティの中でも、若年層と高齢者との壁を超えるような施策が必要
  - 地域住民にも自分の住んでいる地域の実情を見える化して知ってもらい、観光客にも地域と交流できる機会をつくって知ってもらう等、関係人口を増やすことが必要
  - リモートワークなど柔軟な働き方の実現が可能な環境づくりや、その地域ならではの事業や仕事を始めやすい環境を整えることが必要

**【7/29(月) 佐久地域】《まちづくり、地域づくり、移住》**

(テーマ) 人口減少下でも若者を惹きつけるまちづくり

(参加者) おしゃれ田舎プロジェクトメンバー及び小諸市内事業者等 14名

- (概要)
- 移住や起業が盛んな魅力的なまちづくりを進めるためには、コミュニティ（人とのつながり、連携）の強化が重要
  - 移住希望者にとっては、移住先の暮らしを具体的にイメージできることが大事で、関心に応じて魅力を発信していくことが必要
  - 移住のきっかけは様々あるが、人のつながりや楽しさが重要視されており、コンパクトなまちづくりが効果的

**【8/2(金) 上田地域】《共生、外国人》**

(テーマ) 人口減少下における持続可能な地域産業のために必要なこと

(参加者) 上田グローバル共生社会づくり研究会 20名

- (概要)
- 外国人実習生に選ばれ定着されるため、単なる労働人材とみなさずに、行政・企業・住民が協力して共に働き暮らせるよう目指すことが必要
  - 賃金の他、日本文化への憧れや日本人との交流への希望が高く、地方にもチャンスがある。日本語学習や文化やルールの教育など、暮らしやすいまちづくりに地域全体で連携し取り組んでいくことが必要

**【8/7(水) 北信地域】《地域づくり、働き方、教育》**

(テーマ) 人口が減少し続ける中で産業や地域の活力を維持するために何が必要か

(参加者) 一般公募 19名

- (概要)
- 安定した収入確保や出会いの支援、性別による役割分担意識の解消やパートナーシップ等の新しい価値観の浸透など、若者が暮らしやすい社会づくりが必要
  - 職住近接、二地域居住など、この地域で働き暮らすことの良さを捉え直して伝えることが必要
  - 多様な子どもに選ばれる学びの場、農業・通信などのリスクリングの場が必要

**【8/7(水) 松本地域】《子育て、働き方、地域づくり》**

(テーマ) 子育て世帯が子どもを生き育てやすくなるために、行政・職場・地域で取り組んでほしいこと

(参加者) ソイトク・プロジェクト 5名

- (概要)
- 育児で孤立している方への支援や保育環境・サポートの充実により、育児者の性別等に関わらず育児しやすい環境をつくる必要がある
  - 柔軟な育休取得や生産性向上による職場環境の改善など、男性の育児関与を更に促進するための取組が必要
  - 地域の連携強化などにより親子の居場所づくりに取り組み、子育てを家庭内に留めず、地域全体で支援する取組が必要

**【8/8(木) 木曽地域】《働き方、人材確保、子育て、教育、移住》**

(テーマ) 人口減少下における『誰もが働きやすい職場環境を実現するためには』『誰もが子育てしやすい(地域の)生活環境を実現するには』

(参加者) 木曽地域人口減少対策戦略検討会メンバー 13名

- (概要)
- 雇用形態の多様化、ICTの活用による省力化、共同研修や人材シェアの推進、若者の職業選択肢の拡大、シニアの労働環境の整備、起業支援などにより、誰もが働きやすい環境の実現が必要
  - 病児保育やオンライン教育の充実、移住者向けの住宅支援、多様な教育の実現により、子育てしやすい生活環境の実現が必要

**【8/23(金) 諏訪地域】《出産、子育て、外国人、ボランティア、教育》**

(テーマ) 人口減少社会でも安心して豊かに暮らすことができる地域にするために、必要なこと・今できること

(参加者) 諏訪圏域子ども応援プラットフォーム関係者・利用者及び  
諏訪地域の産業・消防団関係者 20名

- (概要)
- 若者向けの性教育や産前・産後のサポート充実などにより、安心して子どもを産み育てられる環境づくりが必要
  - 外国人の就労・生活・地域活動を支援するとともに、外国人と一緒に住みやすい社会づくりが必要
  - ボランティア活動の支援や参加促進、子どもの行政参加機会の向上、個性を伸ばす教育が必要